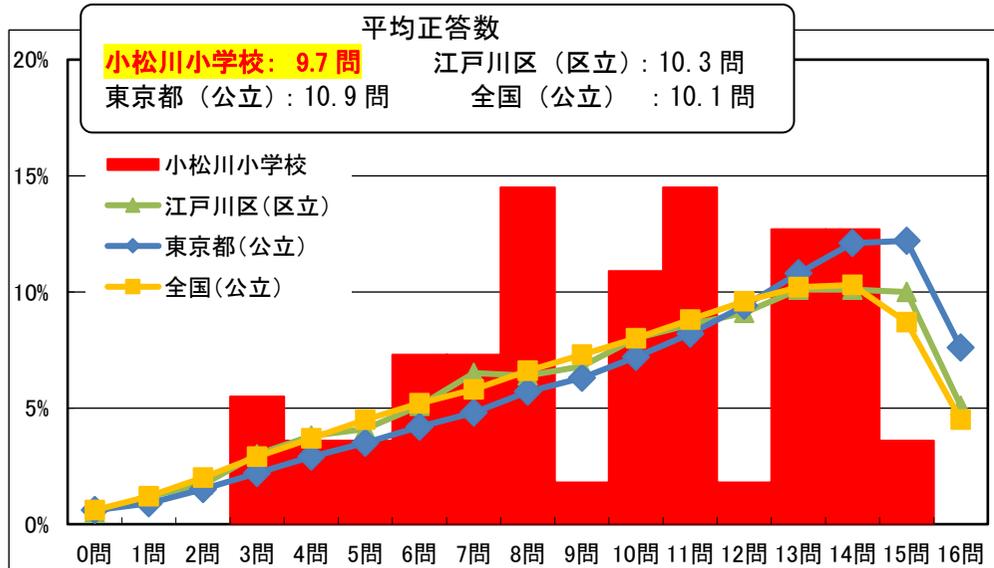


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】小松川小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
小松川小学校	29.0	27.2	23.6	20.0
江戸川区（区立）	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都（公立）	31.9	20.2	27.4	20.5
全国（公立）	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

小松川小学校	60.0%
江戸川区（区立）	64%
東京都（公立）	68%
全国（公立）	63.4%
都との差	8ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

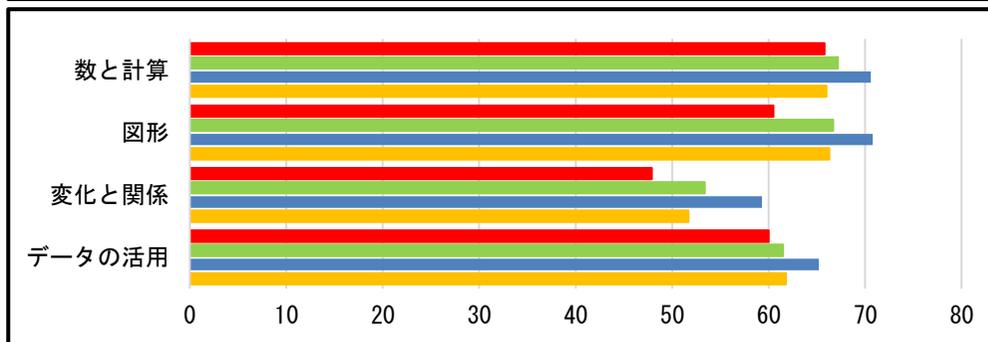
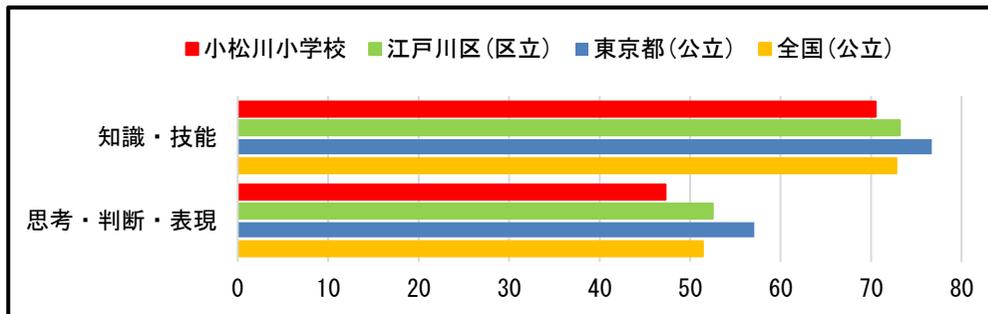
【分析結果】

- 平均正答率が都より8ポイント低く、平均正答数が9.7問と全体的に低い。四分位法ではA層とC層が少なく、B層が多い。
- 「思考・判断・表現」は、都平均に比べ9.8ポイント低い。
- 領域別では、「変化と関係」が都平均より11.4ポイント、「図形」が10.3ポイント低い。

【授業改善に向けて】

- ICTを活用しながら、主体的・対話的で深い学びを実現し、B層とC層の基礎学力向上を図る。
- 習熟度別少人数指導を充実させ、特につまづきやすい単元や領域について個別に指導していく。

「領域別」の結果



四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。